

消防団の活動・活躍！

問 安心安全課 ☎56-0611 (記事ID 13109)

長久手市消防団は、市内に3分団(上郷、岩作、長湫)あり、職業に就きながら地域の安心安全を守っています。平時の活動としては火災に向けての訓練を始め、地震や風水害等の防災分野の訓練も行っています。発災時に備えて、昼夜問わず招集がかかれば出動できる体制を整え、地域の安全を守る活動をしています。

台風などの災害の発生が予測されるときには、災害対応のために事前に消防団詰所に待機します。昨年の台風21号の際には倒木により道路が通行止めになった時に、雨の中で除去作業を行うなど、市と協力して災害対応を行いました。



NEWS119 尾三消防

問 尾三消防組合 ☎0561-38-0119

豊明市・日進市・みよし市・長久手市・東郷町を管轄する尾三消防組合からのお知らせです。

ご家庭における減災対策のすすめ

9月1日は防災の日です。地震が発生したときに、少しでも火災などによる被害を軽減できるよう、ご家庭内での減災について再確認してください。

■火災がおきたら、消火器で初期消火

初期消火で消火器を使用した場合、消火の成功率は7割を超えるとのデータもあります。万が一火が出てしまった場合には、みなさんの生命、身体および財産を守るためにもぜひ住宅用消火器を設置しましょう。

■地震で火災を発生させないように

東日本大震災における本震による火災のうち、過半数が電気関係の出火でした。地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う家電製品からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

地震による火災の過半数は電気が原因という事実をみなさん知ってください。

〈感震ブレーカー〉

地震による火災を防ぐには**感震ブレーカー**が効果的です。

地震発生時に規定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

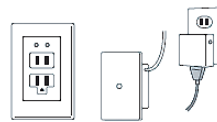
主な感震
ブレーカーの
種類



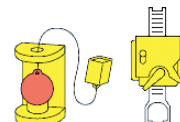
分電盤タイプ
(内蔵型)



分電盤タイプ
(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ



災害発生時の在宅避難に備えて、一週間分の備蓄をしましょう!!

記事ID 13375



避難所生活では、プライバシーなどの確保は困難です。

そのため、在宅可能な状況であれば、自宅での避難生活を送ることが望ましいです。自宅での避難生活が可能の場合、慣れ親しんだ空間での生活に備え、家具転倒防止対策などを行い、食料や水、携帯トイレ等の必要なものを一週間分を目標に備蓄をしましょう!!

問 安心安全課 ☎56-0611